



「EM で落水川浄化始める 蘇る諏訪湖実行委員会」

諏訪湖浄化を目指して活動する「蘇る諏訪湖」実行委員会（山崎公久代表、事務局岡谷市湖畔 2）が諏訪湖に流れる諏訪市の落水川の浄化活動に乗り出した。川底に堆積したヘドロ分解に効果のある EM（有用微生物群）の活性液や団子などを入れ、5 年かけて効果を観察していく。

9 日には、四賀赤沼の落水川近くに 15 人ほどが参加して開始セレモニーを行った。同委員会は、昔のようにきれいで泳げる諏訪湖を取り戻し、地域活性化へつなげようと 2012 年に発足。諏訪東京理科大学環境工学博士の奈良松範教授が顧問として協力する。これまでに漁協と連携した諏訪湖の浄化活動のほか、十四瀬川につながる岡谷市長地小萩の実験場の池で浄化を試みて、カワニナなどを飼育。蛍の発生につなげたいと期待している。落水川では、1999 年から落水川を考える会（水野政利会長）が市の許可を得て活動。川のゴミ拾いをしたり、空心菜を育てるなど浄化を PR してきた。高齢化に伴い、解散も考えたというが、同委員会からの働きかけもあり、協力することになった。考える会元会長の藤森常昭さん（74）＝諏訪市中洲福島新町＝によると、同川は昔、メダカが泳ぎ、蛍が舞うほどきれいだったが、現在は有機物が過剰に流れ込んでヘドロが約 60 センチ堆積しているという。同委員会ではヘドロを有用発酵分解する EM に注目。同委員会で作った EM 活性液を流した後、諏訪地域の消費者の会の協力で作った EM 団子 4 千個を同川の流れる中洲北福島まで投げ入れた。今後 1 週間に 1 度、1 トンタンクの EM 活性液を流す予定で、EM 団子も同大学の学生らの協力を得て作っていききたいという。セレモニーで、山崎代表（77）＝岡谷市湖畔 2＝は「川にワカサギが遡上してくれてきたらうれしい。一日も早くたくさん魚が捕れる諏訪湖に戻ったら」と期待していた。（2014. 11 月 11 日岡谷市民新聞）

長野県岡谷市民新聞にて、「蘇る諏訪湖」実行委員会の皆様の活動が記事になりましたので、紹介いたします。

※主要イベントのご案内

○「U-ネット 年次通常総会」のご案内

【日 時】 2 月 28 日（土） 13:00～17:00

【場 所】 芝公園フロントタワー 3 階

○「善循環の輪・島根の集い in 出雲」のご案内

【日 時】 3 月 28 日（土） 12:30～17:30

【場 所】 ラピタウエディングパレス 3F 天雅の間

「EM 技術の最新情報」

琉球大学名誉教授 比嘉照夫先生

「今 求められている環境教育」

NPO 法人足利美土里探偵団理事長 大島由臣先生

「EM 活用事例発表・質疑応答等」

お申し込み先：善循環の輪実行委員会（錦織）

FAX0853-23-4923 携帯 090-9460-9369



○事務局スタッフの紹介

新年おめでとうございます。本年も事務局スタッフとともに皆様の EM 活動サポートに努めてまいります。よろしくお願いいたします！

（左より：三上、中川、仲嶺事務局長、会田）